

7. しっかり方ほめ方編

③ 子どもを元気にする言葉

《ねらい》

○子どもの健やかな成長や発達のために、子どもへのより良いかわり方や言葉かけを考える。

《準備物》

○ファシリテータ：ワークシート

○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、ふだんあまり考えないで返している子どもへの言葉について考えてみましょう。そして、もっと子どもたちを元気づけたり、勇気づけたり、自信を持たせたりできる言葉かけを見つけましょう。その前に、心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・どんな言葉かけができるか (ワーク1)	4. 日ごろの生活を思い出しながら、それぞれの場面での言葉かけを ワーク1 に書いてみましょう。	・ふだん言っている言葉をそのまま書いてもらう。
	15	5. グループで話し合う。 ・子どもの気持ち ・子どもへの言葉かけ (ワーク2)	5. 記入したことをもとに、お互いの言葉かけについて、話し合ってみてください。言われた子どもの気持ちになって子どもを元気にする言葉かけのポイントを考え、 ワーク2 に記入しましょう。	・子どもの立場になって、どんな言葉をかけてもらったらうれしいか考えてみる。
	10	6. グループごとに発表する。	6. どんな意見が出ましたか。グループで出た意見を発表してください	・各グループから1つずつ発表してもらう。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたことや感じたことをまとめてみましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。自分が子どもだったらどんなふうに言ってもらえると安心できたり、うれしかったり、納得したりするか考えることができましたね。子どもの性格を考え、心に寄り添いながら、子どもに元気や勇気、自信を持たせる一言をかけられる親になりたいですね。		

③ 子どもを元気にする言葉

親はみんな、我が子の幸せを願っています。自分を大切に、誇りと自信をもって、その子らしく輝いて生きていてほしい。そんな期待をもってはいるものの、日々の関わり方に親としての自信はないものです。

子どもの成長や発達には、親としての「関わり方」や「言葉かけ」が大きく影響をします。

子どものありのままを受けとめ、しっかり認め、前向きな気持ちにさせる言葉かけのできる親になれば素晴らしいですね。

今日は、子どもを元気にするひと言を、みんなで考えてみましょう。



ワーク1 どんな言葉かけができるでしょうか。次の3つの場面で考えてみましょう。

	場面	余裕のないとき	余裕のあるとき
共通	・ 出かけようとしている時に、のんびりとしている子に		
共通	・ 誤ってものを壊した後、どうしても「ごめんなさい」が言えない子に		
幼児	・ 寝る時間になっても、いつまでもはしゃいで遊んでいる子に		
小学生	・ 決めた時間になっても遊んでいて（テレビ等を見たり・聞いたりして）宿題を始めようとしない子に		

ワーク2 子どもを元気にする言葉かけのポイント



ふりかえり

